

# 令和2年度の研修実施日

<p>4/2① 今年度の研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伝え合いたくなるときって？考えてみたくなるときって？」</li> <li>・年間の計画</li> </ul>	<p>4/22② ・今年度の研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「伝え合って学ぶ」ってどういうこと？「伝え合って学ぶことのよさ」は？</li> <li>・ここにしばってやってみよう！&lt;その1&gt;</li> </ul>	<p>5月 実践&amp;児童観察 期間</p> <p>(※研修日なし)</p>	<p>7/8③ ・子どもたちの姿から「子どもたちの伝え合って考える」姿をイメージして共有しよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここにしばってやってみよう！&lt;その2&gt;</li> </ul>	<p>7/9～9/23 実践&amp;児童観察期間</p> <p>(※研修日なし)</p>
--	--	--	---	---

step1 子どもの様子を見ながら、「取り組んでみる」期間

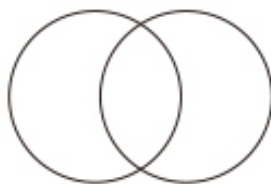
<p>9/23④ 授業研light!に向けて 「みんなで対話しよう！」 1) 今の子どもたちの姿を交流→どんな「課題」や「発問」「表現のわざ」が必要？ 2) どんな授業をしよう？</p>	<p>10～11月に1回 授業交流light! (授業交流期間)</p> <p>(研修日ない期間)</p>	<p>11/25⑤ ・「みんなで対話」 ・ちょっぴり情報提供</p>	<p>12/15⑥ ・次はどんな授業をやってみよう？ ・ちょっぴり情報提供</p>	<p>12/16～2/3に1回 授業交流light! (授業交流期間)</p> <p>(※研修日がない期間) (※授業後の対話は学年Gで設定)</p>	<p>1/27⑦ 実技研修(予定)</p>
---	---	--	---	---	---------------------------

step2 1を元に、授業づくりをして交流する期間(日常的にも試しながら)

<p>2/4⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで指導案を作ってみよう！</li> <li>① 授業交流期間に行った授業をひとつ選択</li> <li>② その授業について対話した記録をもとに、指導案を作成</li> </ul>	<p>3/2⑨ 反省 次年度に向けて</p>
---	--------------------------------

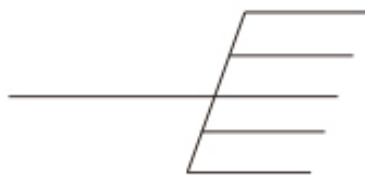
step3 1・2を経て、考察・まとめをする期間

# 思考ツール



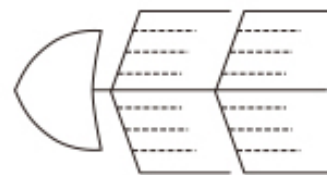
ベン図

比較する



くま手図

多面的に見る



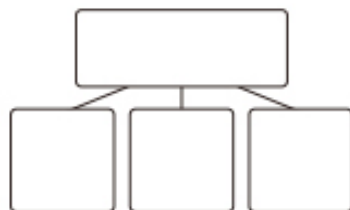
ボーン図

構造化する



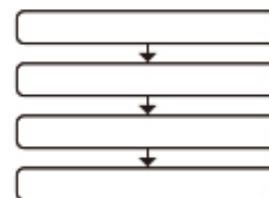
XYチャート

分類する



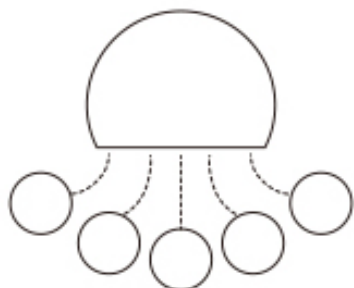
なぜなにシート

構造化する



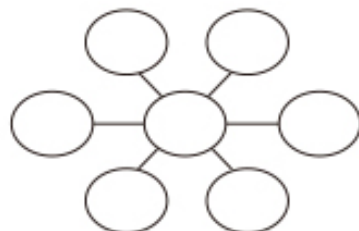
ステップチャート

順序立てる



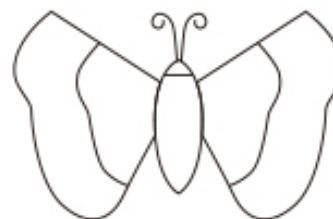
クラゲチャート

理由付けする



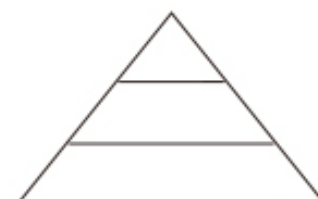
イメージマップ

関連付ける



バタフライチャート

理由付けする



ピラミッドチャート

構造化する

～ 1時間の授業の中でやってみましょう～

考えて  
みたい!

伝え合いたくなる・考えたくな  
る課題・発問の工夫

やってみよう!その2

考えを  
表現したい!  
これなら  
できる!

個人での学び

多様な表現の  
「わざ」

やってみよう!その1

伝え合う学び

伝え合  
いたい!  
深められる

全体交流    ペア交流

視覚化に  
よる共有

## 単元名 「鳥獣戯画」を読む

### ①本時のゴール

挿絵と文章を結びつける活動を通して、  
筆者 高畑勲さんが、絵の描き方・表情・動き  
を取り上げながら鳥獣戯画の魅力を伝えよう  
としていることがわかる。

### ②「伝え合いたくなる・考えたくなる」

#### 課題・発問の工夫

工夫その1！

絵と文章が結びついておらず、「どこに着目  
しているかがわかりにくい」例を示すこと  
で、課題に必要感をもたせる。

**課題** 筆者 高畑勲さんは、鳥獣戯画の  
魅力を伝えるために、どんなところに着  
目しているのだろう？

**発問** ここに、挿絵がない本文があり  
ます。どの挿絵がどこにあてはまるで  
しょう？

工夫その2！

挿絵と本文、「どことどこが対応してい  
る？」という問いだけでなく、挿絵の無い  
本文を提示し、それぞれの絵が「どこに当  
てはまるか？」という発問・活動をセット  
にすることで、「伝えたくなる・考えたく  
なる」を生む！

### ③「表現のわざ」の工夫

- 「挿絵を選ぶ」  
「線を引く」  
「挿絵に丸をつける」という「表現」

により、どの子もその後の対話で自ら  
の考え「伝えたくなる」(+相手の考え  
が気になる・聞きたくなる)状態になる  
よう工夫

- 書いて表出することが苦手な児童に  
対しては、自分の考えを話して表出さ  
せる機会を設ける。